

公民館WSだより Vol.1

～「まなぶ」「つどい」「むすぶ」～

現在、舞鶴市で取り組んでいる「公民館の未来を考えるワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

「公民館の未来を考えるワークショップ」とは？

資産マネジメント推進課と生涯学習推進課が連携して開催し、市民と市職員が一緒になって、「皆さんにとっての公民館像」や「公民館だからできること」について意見を出し合い、これからの公民館の新しい「カタチ」を考えるワークショップです。

【ワークショップの目標】

公共施設の建物のことも、そこでできる活動のことも含めて「自分たちにとっての公民館とは？」を考え、そこに向けて実際にできることをやってみる。

【第1回】

会場:南公民館
日付:2026年
6月20日(土)
参加者:39人
(うちWS参加者30人)

1 施設見学 & 趣旨説明

ワークショップの開始前に施設見学を行い、南公民館の各部屋の案内や利用状況の説明がありました。趣旨説明では、はじめに公民館の現状と課題を整理し、今後の進め方を確認しました。そのあと、3つの班に分かれて全体の目標を共有し、ワークをスタートしました。



2 ワークショップ

ワーク1: あなたのこれまでの活動・記憶

これまでの公共施設での自身の活動や記憶を付箋に書き、貼り付けました。

ワーク2: 活動を仕分けてみる

ワーク1で出した活動を仕分けました。

場所: 公民館か、それ以外の公共施設か
用途: 「まなぶ」「つどい」「むすぶ」「〇〇」に分類

※「〇〇」は、みんなで考えて新たな分類を作りました。

ワーク3: 気づいたこと・思ったことを話す

ワーク1・2で話し合った感想から、感じたこと・気づいたこと・もやもやすることなどを話し合いました。

完成した模造紙は、こちらの二次元QRコードからご確認くださいませ。→



3 全体共有 & 講評

各班からの意見共有の後、アドバイザーからの講評がありました。

公共施設は住民のものであるが、行政が管理している。重要なのはハコ(建物)か、それとも中身(機能)かの議論は必要。サードプレイス(家や職場、学校ではない心地の良い場所)を目指してほしい。

杉岡先生(福知山公立大学准教授)



【次回のお知らせ】「自分と大切な人の“これから”のために」

日時: 2026年7月26日(日) 10:00~12:00 会場: 西市民プラザ

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。

【お問い合わせ】

生涯学習推進課 0773-68-9233

資産マネジメント推進課 0773-66-1045

協力: 特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所

発行: 舞鶴市財務部資産マネジメント推進課

企画・編集: 福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ



舞鶴市HP